

あなたと病院をつなぎます
静岡県立総合病院

病院だより

第24号

～ホッと一息～

正面玄関ホールにコーヒーショップオープン！

6月18日（金）、院内でも少しでもゆっくりとした時間をお過ごしいただけるように、正面玄関ホールにコーヒーショップ「タリーズコーヒー」がオープンしました。ロビー設置のソファでのご利用・テイクアウトはもちろんのこと、併設したウッドデッキでも コーヒーや軽食をお楽しみいただけます。営業時間は朝7時～夜8時までとなっておりますので、皆様お気軽にご利用ください！



ロビー設置の椅子。ゆっくりとコーヒーをお楽しみいただけます。

オープン当日の様子です。初日から大勢の方にご利用いただきました。

当院では今後も、皆様が少しでも過ごしやすいような院内の環境づくりを目指していきます。



ウッドデッキもぜひご利用ください。

認定看護師コラム① 緩和ケア認定看護師 東 美佐子
～Aさん夫婦から教えていただいたこと～

「大切な人と大切な場所で過ごす」

緩和ケア認定看護師は、がんに関わる身体の症状、気持ちのつらさや家族も含めたサポートをする役割を担うものです。私は緩和ケアチームに所属して活動しています。今回は、以前緩和ケアチームに「痛みのコントロール」について依頼があり関わることになったAさん夫婦のお話をしたいと思います。Aさん夫婦は様々な不安から在宅療養を決めることを迷い、入院生活が長くなっていたところでした。

痛みは内服薬の調整を行い、ますます安定していききました。後はAさん夫婦の気持ちがまとまれば、退院はいつでもよい状態です。しかし足の麻痺が進んでいるAさんの不安は、募るばかりです。夫は、介護と家事と仕事の3つの両立に不安があり、その夫の姿を見て、

また悩むAさんでした。私は病棟の看護師や地域医療連携室の看護師と情報交換をしあいながら、Aさんと毎日、話をしていききました。Aさんは家に帰りたい気持ちと不安な気持ちの中で揺らぎ、涙を流す日も何回もありました。そしてある日突然、Aさんが「前に進まない！」と決心。よし今だ！在宅療養での痛みのコントロールの方法を見直し、訪問看護師にはケアの確認を行い、退院となりました。その後外来へ受診に来たAさん夫婦は「家はいいよー、迷っている人に教えてあげたいよ！」とその笑顔はきらきら輝いていました。

「大切な人と大切な場所で過ごす」こと・・・自宅の良さ、それは誰もが十分にわかっていることです。しかし現状は様々な理由で在宅療養をあきらめなければならないこともあります。でも希望と現実を見直していくことで、案外糸口が見つかることもあります。これはAさん夫婦に添わせていただき、学んだことです。

がんの治療を受けている皆さん、不安や悩みを抱えていませんか？家族の方も一緒に悩んでいませんか？緩和ケア認定看護師は専門の情報を持つスタッフと連携して、あなたの抱えている不安や悩みについて一緒に考えます！



認定看護師コラム② がん化学療法認定看護師 藤巻 奈緒美 ～抗がん剤の副作用対策～

自分で出来る脱毛時期の頭皮ケア



抗がん剤治療によっておこる脱毛は、抗がん剤の種類や量によって差はありますが、治療開始後2～3週間後から始まります。この時期の頭皮は敏感になっており、毛穴から細菌感染をおこすこともあります。ご自身で毎日、頭皮を清潔に保つ事が大切です。

脱毛時期のシャンプーのコツ

- ・脱毛中は毛穴をきれいに保つために毎日シャンプーをしましょう。
- ・シャンプーは、普段使用しているもので構いません。
(リンスの入ったものは避けましょう)
- ・ベビーシャンプー、石けん、洗顔料での洗髪は避けましょう
- ・シャンプーは手のひらにとり、十分に泡立ててから頭皮をやさしくもみ洗いしましょう
地肌をなでるように、爪をたてず、洗顔する要領でやさしく洗います
- ・シャンプーをよく洗い流します。シャンプーのすすぎ残しがあると頭皮を痛めますので十分にすすぎます
- ・低温のドライヤーで髪と地肌をしっかりと乾かします



POINT
よりきめ細かい泡にするのがコツです。

～お持ちですか？～ お薬手帳の大事なお話

当院では、受診時にお薬手帳を持参するようお願いをしています。

お薬手帳のメリット

- ・薬の副作用歴やアレルギー歴を確認することができます。
- ・同じ効果の薬の重複を防ぐことが可能です。
- ・薬の飲み合わせの確認ができます。

お薬手帳は大切な医療情報です。保険証と一緒に保管し、常に携帯しましょう。



～ご意見箱から～

患者様の声におこたえします(第20回)



患者様からのご意見箱を院内の9箇所（本館地下1階、玄関ホール、1・3・4・5・6階、北館1階）に設置しています。患者様のご意見を受けて、実施したことのいくつかをお知らせします。

●「最近診察時に、先生方や看護師さんが紫色の手袋を使用されていますが、トイレ掃除、産業廃棄物などの危険物を取り扱う場面等が想像されます。手袋の色について考え直してください。」とのご意見がありました。

○ 現在、当院では色の付いた手袋を使用しております。手袋を着用するのは感染症や医療事故防止のためですが、手袋に色が付くことによって誰の目にも手袋を着用していることが明らかになり、医療事故の防止につながります。また、アレルギーの原因となるとされる「ラテックス」という素材も使用していません。このように、患者さまにとって、従前より優れた手袋ですので、ご理解をお願いします。

●「掃除のおばさんが、とても横柄な態度で、本当に気分が悪い。ビニール袋を少し汚しただけで舌打ちされた。業者に、清掃員の教育を求めます。」とのご意見がありました。

○ ご指摘の従業員は、患者さまからのご意見になかなか改善対応が見られないので、清掃業者としても6月一杯で配置転換とする方針とのことです。

病院だよりでは、患者様へ院内の様々な情報を提供しております。病院だよりに関するご意見等がありましたら下記までご連絡ください。

●「大腸がん手術後、五分粥の食事をいただいております。今週、火曜日より土曜日の4日間、朝・昼・夕と各メニューが全く同じでした。治療の一環として、いただいておりますが、さすがに毎回同メニューですとこたえます。」とのご意見がありました。

○ 当院での手術後の食事オーダーは、手術内容により日々段階的に食分量・内容がアップしていくよう献立が組まれています。手術後に食事が開始され、段階的にアップされた場合は問題ありませんが、途中で今回のように、五分粥食の段階で一旦ストップすると同じ献立内容が継続するようになっていました。早速、今後はこのような状況が生じないよう献立内容を検討いたしました。

●「Drは丁寧親切で優しく、看護師の皆さんも同様に接してくださいまして感謝しております。そればかりか、清掃や配膳の皆さんも同様で、病院が一体となって治療の向上と患者サービスの向上に取り組んでいる姿勢が伺えました。もちろん、施設も明るくキレイでとても快適な入院生活送ることができました。」との感謝の声が寄せられました。

○ 高い評価をいただきありがとうございます。今後とも、患者さまのお力になれるよう、職員一同努力してまいります。

発行：静岡県立総合病院 広報委員会
〒420-8527 静岡市葵区北安東4-27-1
電話番号 054-247-6111(代表) FAX番号 054-247-6140
ホームページ <http://www.shizuoka-pho.jp/sogo/>